

I D : @PATIENTID @USERSECTION

氏 名 : @PATIENTNAME

生年月日 : @PATIENTBIRTH2

性 別 : @PATIENTSEXN

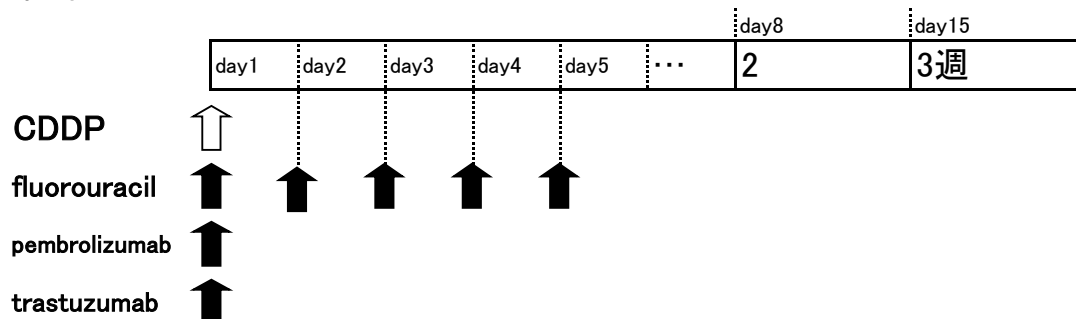
綾部市立病院 化学療法
標準プロトコル／治療計画書 [No.401]
当レジメンの2024年度実施状況: 0 件

胃 pembrolizumab+trastuzumab+FP

<対象>

CPS $\geq$ 1、かつHER2陽性の治療切除不能は進行・再発の胃癌

<標準プロトコル> 3週1コース



<患者情報>

身長 \$HEIGHT cm 体重 \$WEIGHT kg 体表面積 \$身体情報 m²
(DuBois式)

<使用薬剤・投与量>

シスプラチン 80mg/m² ⇨ mg

フルオロウラシル 800mg/m²/day × 5 ⇨ mg

ペムブロリズマブ 200mg/body ⇨ 200 mg

トラスツズマブ 初回 8mg/kg ⇨ mg

2回目以降 6mg/kg ⇨ mg

<治療計画>

● 切除不能進行再発

開始 年 月 日 ~ 治療に対して不応または不耐まで

主治医 指導医

<注意点>

KEYNOTE 811 試験では

- ・CDDPの投与期間は6サイクルに限定可能
- ・pembrolizumabの投与期間は最大35回(2年)であり、それらの症例はtrastuzumabとfluorouracilを追加で最長1年間投与可能であった。

主治医の先生へ) 治療開始時に患者情報・治療計画を記入し、薬剤部まで提出してください。